

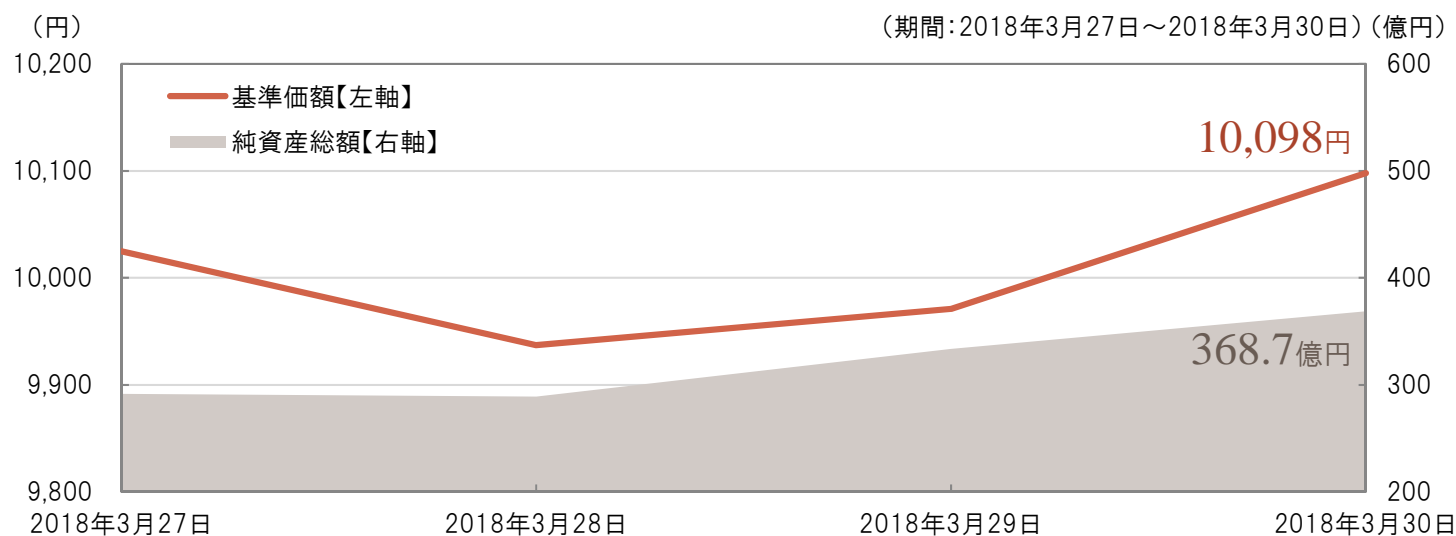
追加型投信 / 内外 / 株式

## 未来イノベーション成長株ファンド 設定来の運用状況について

ファンド情報提供資料  
データ基準日: 2018年3月30日

平素より、「未来イノベーション成長株ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは2018年3月27日に設定し、運用を開始いたしました。つきましては、2018年3月30日現在の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 設定来の基準価額等の推移



・基準価額(1万口あたり)は、信託報酬控除後のものです。

### 今後の市況見通しと今後の運用方針

#### 【今後の市況見通し】

当面の国内株式は、一進一退の方向感の乏しい動きを想定しています。理由としては、円高・米ドル安傾向や米国発の貿易摩擦問題など、企業業績を考える上での外部環境に不透明感が強いことから、多くの投資家は2018年4月後半以降に本格化する各企業の決算発表の内容を見極めようとする想定しているためです。現状の円高傾向を背景に2019年3月期の企業業績見通しは慎重なものになると思われませんが、日本企業がもつ技術力の高さやブランド力といった本質的な競争力に変わりはないため、現在の為替水準であれば、影響は限定的と考えています。

#### 【今後の運用方針】

現在、日本株式については①インターネットを活用したサービスやAI・IoTの活用によるデータ量拡大に対応する「情報通信」、②自動車の排ガス規制・安全・燃費技術に関わる輸送用機器・電子部品などの「環境」、③バイオ・医療機器を含む「ヘルスケア」、④モノづくりを支える「新素材」の4つの投資テーマに注目しています。外国株式については、インターネットを活用した「情報通信」や、バイオなどの「ヘルスケア」に注目しています。  
当ファンドは、上記の4つの投資テーマを考慮しつつ、独自の成長要因を持ち、着実に利益成長を遂げる可能性が高いと判断した銘柄へ、中小型銘柄から大型銘柄まで幅広く投資する方針です。

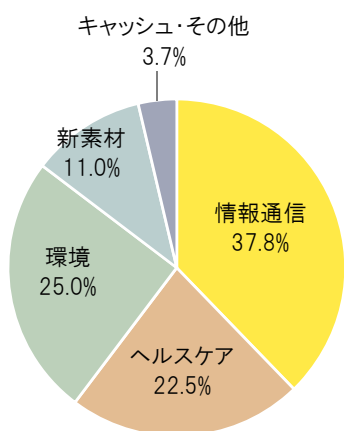
■コメントおよび運用方針は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

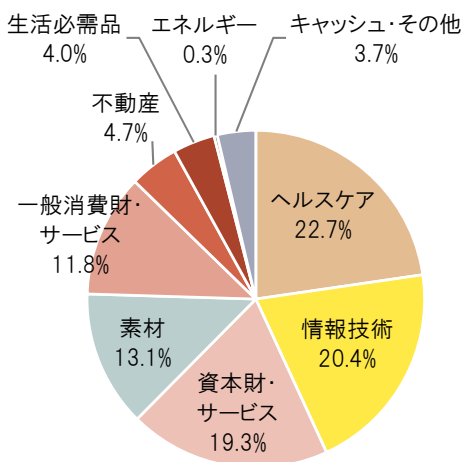
## 未来イノベーション成長株ファンド

## 運用状況(2018年3月30日現在)

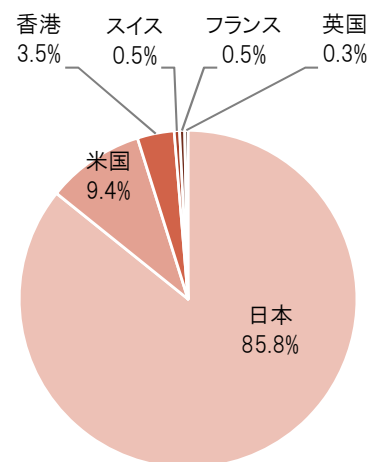
テーマ別構成比率



業種別比率



国・地域別比率



## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 日本株式...41銘柄、外国株式...14銘柄)

銘柄	国・地域	業種	比率	テーマ	概要
東海カーボン	日本	素材	4.7%	環境	炭素材料メーカー。ゴム製品用カーボンブラックを製造。高圧ガス、工業用電気炉なども製造。
エムスリー	日本	ヘルスケア	4.2%	情報通信	インターネットを通じ医療従事者向けに医療関連情報を提供。また、医薬品メーカーなどのマーケティング活動も支援。
朝日インテック	日本	ヘルスケア	3.4%	ヘルスケア	医療用器具などを製造・販売。主な製品は、カテーテルやガイドワイヤー。
日本電産	日本	資本財・サービス	3.4%	情報通信	世界有数の小型精密モーターメーカー。同社の製品は、主にハードディスク、光ディスクドライブに加え、自動車にも使用。
ペプチドリーム	日本	ヘルスケア	3.3%	ヘルスケア	独自の創薬開発プラットフォームシステムを活用し、製薬企業との共同開発研究のもと、新薬候補物質を研究・開発。
任天堂	日本	情報技術	2.9%	情報通信	家庭用の携帯型・据置型ゲーム機およびソフトウェアなどを開発、製造、販売。
アウトソーシング	日本	資本財・サービス	2.7%	情報通信	製造業全般の業務請負サービスを提供。同社は人材派遣業務も展開。
スズキ	日本	一般消費財・サービス	2.6%	環境	自動車および自動二輪車、その関連部品を製造。同社は世界各国に製造施設を所有。
三菱商事	日本	資本財・サービス	2.5%	環境	総合商社。新機能事業、情報産業、燃料、金属、機械、化学品などで形成されるビジネスグループを保有。
三井不動産	日本	不動産	2.4%	環境	オフィスビルや住宅などを賃貸・分譲、工事、仲介、販売、管理。また、ショッピングセンターなども経営。

- ・「テーマ別構成比率」、「業種別比率」、「組入上位10銘柄」は純資産総額に対する割合です。「国・地域別比率」は現物株式評価額に対する割合です。なお、純資産総額に対する現物株式組入比率は96.3%です。
- ・業種はGICS(世界産業分類基準)によるものです。
- ・国・地域は投資対象銘柄の主要取引所所在国を表しています。
- ・四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・上記は、2018年3月30日時点における当ファンドの組入上位銘柄についてご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## 未来イノベーション成長株ファンド

## (ご参考)類似ファンドにおいて良好な運用実績

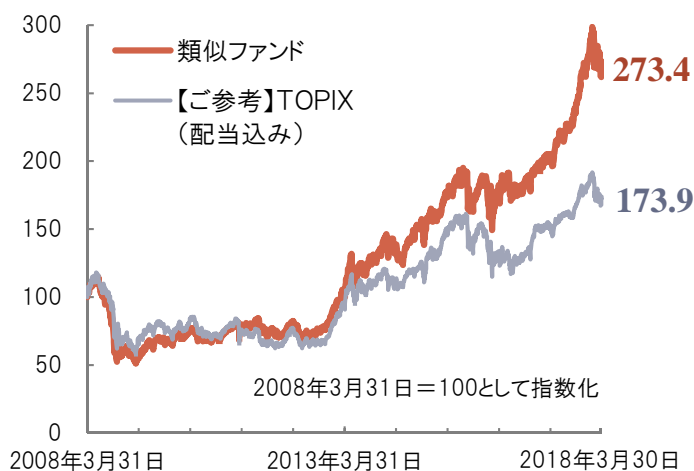
直近過去10年間で、類似ファンドは約2.7倍のパフォーマンスとなりました。

なお、期間別の騰落率をみると、東証一部全銘柄を対象とする東証株価指数(TOPIX)に対して、足下の過去1ヵ月では運用成果が下回っているものの、中長期では良好な運用結果を残しています。

- ・本資料において、類似ファンドとは、当ファンドと同様の投資対象・運用手法を用いている「三菱UFJグローバルイノベーション【愛称:ニュートン】」のことを指します。
- ・下記は類似ファンドの運用状況であり、将来の市場環境の変動や当ファンドの運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
- ・下記は、あくまで参考として掲載しており、類似ファンドの売買を推奨するものではありません。

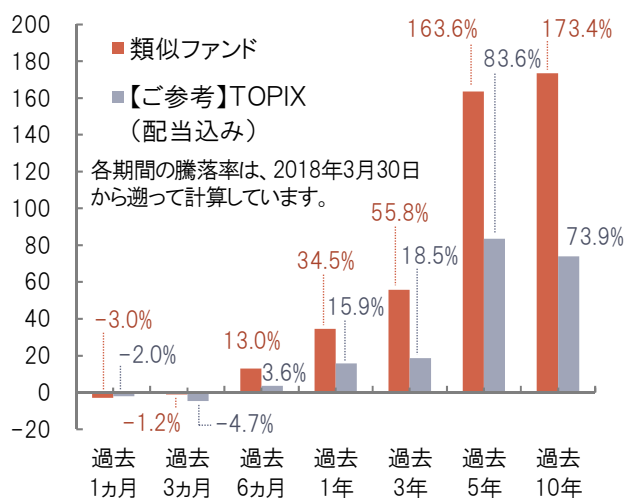
## 類似ファンドのパフォーマンス

(期間:2008年3月31日~2018年3月30日)



## 期間別の騰落率

(期間:2008年3月末~2018年3月末)



・類似ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しており、信託報酬控除後の値です。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。・2011年9月17日付で、外貨建資産の運用について「ニュートン・インベストメント・マネジメント・リミテッド」への運用委託を取り止め、すべての運用を三菱UFJ国際投信へと変更しています。・TOPIXは、類似ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

類似ファンドは、モーニングスターが選定・公表する「Morningstar Award “Fund of the Year 2017”」において、2011年以来2度目となる優秀ファンド賞に選ばれました。

## 類似ファンドの受賞内容



- ・モーニングスター・類似ファンド分類(国内中型グロース)内における順位です。
- ・詳しくは【Morningstar Award “Fund of the Year 2017”について】をご覧ください。

(出所)モーニングスターの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

## 期間別の運用実績

(モーニングスター算出/2018年3月末現在)

	3年	5年	10年
トータルリターン(年率)	15.94 %	21.39 %	10.58 %
順位/ファンド数	4位/62本	2位/48本	6位/41本
シャープレシオ	1.15	1.42	0.57
順位/ファンド数	1位/62本	2位/48本	5位/41本

- 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## 未来イノベーション成長株ファンド

**ファンドの目的** 日本を含む世界の株式を主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり利益の獲得をめざします。

**ファンドの特色**

1

次の時代を創るイノベーション※を捉えることをめざします。

- 次の時代を創るイノベーションを見極め、魅力ある投資テーマを選定します。
  - 投資テーマに基づき、日本を含む世界の未来を牽引する企業へ積極的に投資することで、将来の高い成長を享受し、中長期的な値上がり利益の獲得をめざします。
- ※ 当ファンドにおいては、技術の革新にとどまらず、これまでとは違った新たな考え方、仕組み等を取り入れて、新たな価値を生み出すことをいいます。

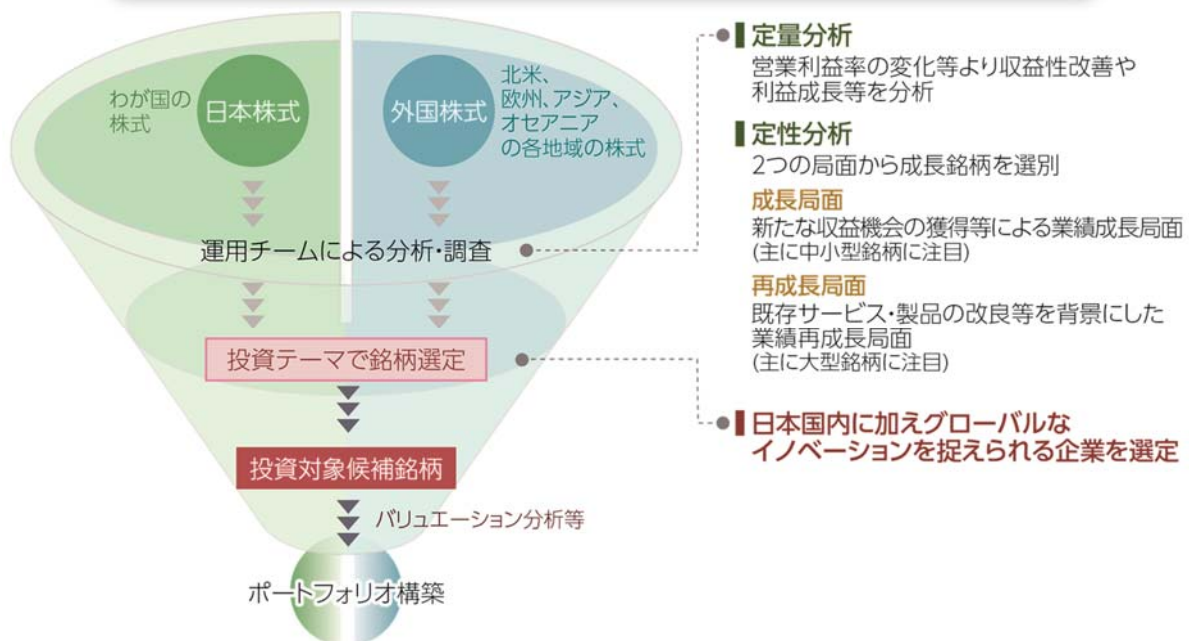
2

日本株を中心に世界の株式に投資を行います。

- ボトムアップ・アプローチによりテーマや産業の分散を意識しながら競争力のある企業を選定します。日本の企業を中心に、日本国内に加えグローバルなイノベーションを捉えられる企業に投資を行います。
- 組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

「ボトムアップ・アプローチ」とは、投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法です。

## 運用プロセス



・ 上記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。上記は、2018年2月23日現在のプロセスであり、今後変更されることがあります。

3

年1回の決算時(6月20日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

(初回決算日は、2018年6月20日です。)

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

## 未来イノベーション成長株ファンド

### 投資リスク

#### ■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

#### 価格変動リスク

株式の価格は、株式市場全体の動向のほか、発行企業の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

#### 為替変動リスク

組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

#### 信用リスク

株式の発行企業の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、株式の価格が下落すること、配当金が減額あるいは支払いが停止されること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。

#### 流動性リスク

株式を売買しようとする際に、その株式の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

#### ■その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

#### ■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的に関催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

## 未来イノベーション成長株ファンド

### 【Morningstar Award “Fund of the Year 2017”について】

- ・P3の「類似ファンドの受賞内容」および「期間別の運用実績」は、モーニングスターによる2017年12月末を基準日とした、類似ファンドの過去の一定期間における評価です。当該評価は過去の一定期間の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・Morningstar Award “Fund of the Year 2017”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2017年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国内株式中小型部門は、2017年12月末において当該部門に属するファンド243本の中から選考されました。

### 【本資料で使用している指数について】

TOPIX(東証株価指数):東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。同指数に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

### 【GICS(世界産業分類基準)について】

Global Industry Classification Standard (“GICS”)は、MSCI Inc. とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産権はMSCI Inc. およびS&Pに帰属します。

### 【P3に掲載している類似ファンド「三菱UFJ グローバルイノベーション【愛称:ニュートン】】について】

#### 投資リスク

- 基準価額の変動要因:基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスクです。上記は主なりリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### 「三菱UFJ グローバルイノベーション【愛称:ニュートン】」の費用

類似ファンドにご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- 購入時に直接ご負担いただく費用  
購入時手数料:購入価額に対して、**上限3.24%(税抜 3%)** 販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。
- 換金時に直接ご負担いただく費用  
信託財産留保額:換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.3%**をかけた額
- 保有期間中に信託財産で間接的にご負担いただく費用  
運用管理費用(信託報酬):日々の純資産総額に対して、**年率2.052%(税抜 年率1.9%)**をかけた額
- その他の費用・手数料  
以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。
  - ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
  - ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
  - ・その他信託事務の処理にかかる諸費用 等
 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。  
 ※運用管理費用(信託報酬)は、日々計上され、毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。  
 ※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。  
 なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

「三菱UFJ グローバルイノベーション」の購入をご検討いただく場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

### 【本資料に関するご注意事項】

- 本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

## 未来イノベーション成長株ファンド

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

### お申込みメモ

購入時	<b>購入単位</b> 販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
	<b>購入価額</b> 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ 基準価額は1万口当たりで表示されます。
換金時	<b>換金単位</b> 販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
	<b>換金価額</b> 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
申込について	<b>換金代金</b> 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
	<b>申込締切時間</b> 原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
その他	<b>換金制限</b> ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
	<b>購入・換金申込受付の中止および取消し</b> 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
その他	<b>信託期間</b> 2028年6月20日まで(2018年3月27日設定)
	<b>繰上償還</b> ファンドの受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
	<b>決算日</b> 毎年6月20日(休業日の場合は翌営業日) ※ 初回決算日は2018年6月20日
その他	<b>収益分配</b> 年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。

その他	<b>課税関係</b> 課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。
-----	--

### ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	<b>購入時手数料</b>	購入価額に対して、 <b>上限3.24%(税抜3.00%)</b> 販売会社が定めます。 くわしくは、販売会社にご確認ください。
	<b>換金時</b>	<b>信託財産留保額</b> ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	<b>運用管理費用(信託報酬)</b>	日々の純資産総額に対して、 <b>年率1.6632%(税抜 年率1.5400%)</b> をかけた額
	<b>その他の費用・手数料</b>	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・ 監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・ 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・ 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・ その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※ 上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※ 運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※ 上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)	三菱UFJ国際投信株式会社
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)	三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社(購入・換金の取扱い等)	以下の通り

設定・運用 … 三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

#### 【販売会社情報】

商号	登録番号等	加入協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／ 一般社団法人金融先物取引業協会／ 一般社団法人第二種金融商品取引業協会